

WWL長崎フォーラムを開催しました！

7月4日（月）これまで努力してきた高校3年生の探究学習の最終発表として、WWL長崎フォーラムを開催しました。拠点校である本校の普通科・国際科に加えて、連携校の長崎西、長崎南、大村、壱岐、対馬、広島女学院、三島北（静岡）が参加しました。本校視聴覚教室での対面発表、リモートによるライブ発表、事前に録画した発表動画の配信といったハイブリッド方式による発表と、代表生徒によるパネルディスカッションが実施されました。

★スライド発表部門

優秀賞	日本語	長崎東普通科	代替魚粉としてバッタを用いることは可能か （黒岩夕綺、大渡玲央、大塚優斗、小川凜空）
優秀賞	日本語	長崎東普通科	長崎の版画家、田川憲の作品を通して若者の地元への関心を高めることができるか （香月夏美、藤原莉子、川添瞳子、岩永萌子）
優秀賞	英語	長崎東国際科	水をほとんど使わない口腔ケアで発展途上国の口腔環境を改善 （木場春賀、伊東香乃、岩崎史佳、溝口花恋）
優秀賞	日本語	長崎南	LGBTQ+への理解向上に向けた挑戦
優秀賞	日本語	大村	温度による弦の張力の変化
優秀賞	日本語	対馬	知ってほしい 対馬の海
優秀賞	日本語	広島女学院	現在の日本医療において、在日外国人のインフォームドコンセントは果たしているのか

★ポスター発表部門

優秀賞	英語	長崎東国際科	医療につながるピクトグラム （秋山琴美、井上七海、古賀愛菜）
優秀賞	日本語	長崎西	長崎市西檜山における霰石（あられいし）ノジュールの形成について
優秀賞	英語	三島北	ベトナムと日本の母子手帳の改善によって出産・育児への支援を向上する

長崎東普通科の八戸春桜さんと国際科の河原寛太さんが、長崎西、長崎南、壱岐（オンライン）、対馬（オンライン）の代表生徒とともに、パネリストとして登壇しました。国際科の村上由宇さんがファシリテーターを務め、「探究学習で身についた力」や「将来伸ばしたい力」等について討論しました。物事を多角的に見る力や協働力が養われ、創造力やコミュニケーション能力が今後も必要との内容でした。



国際科のポスター発表



普通科のスライド発表



対面とオンラインを融合したパネルディスカッション